

2025年度国民スポーツ大会 選手選考について

選考基準：

- ・国民スポーツ大会参加標準記録を突破した者から規定の種目別人数の範囲内で選考する。
- ・代表選手は、人格や行動においても徳島県代表選手としてふさわしい選手を選考する。
- ・選考において審議を要する場合、(一社)徳島県水泳連盟 国スポ選考会議にて別途審議する。

【競泳 個人種目】

1.選考対象となる競技会

3月20日以降、国スポ選考会議までの都道府県水泳連盟(協会)が承認した公式競技会、または公認競技会(長水路に限る)において、(公財)日本水泳連盟の定める参加標準記録を突破した者(同記録可)を選考対象とする。

2. 参加標準記録突破者の上位の者から選考する。

3. 標準記録を突破できない場合、男女各4名の計8名までは、無条件参加枠として個人種目1種目に限り選考する場合がある。

①標準記録を突破した者が、男女いずれか一方でも4名の枠を超えた場合は、男女とも無条件参加枠は使用しない。

②無条件参加枠で出場する場合、標準記録突破者と同様にリレーメンバーとして選考する場合がある。

【競泳 リレー種目】

標準記録突破者4名の合計記録が、前年13位相当のタイムを突破した場合に選考する。

(ただし記録によっては出場しない場合がある。)

1.個人種目において参加標準記録を突破した者より選考する。

2.上記1で選考できない場合

(1) 4×100m フリーリレー

3月20日以降の長水路公認大会の100m自由形(リレーの第一泳者の記録を含む)の上位4名を選考の対象とする。

(2) 4×100m メドレーリレー

3月20日以降の長水路公認大会の各泳法の100m種目(リレーの第一泳者の記録を含む)の上位4名を選考の対象とする。

(3) 4×200m フリーリレー

3月20日以降の長水路公認大会の200m自由形(リレーの第一泳者の記録を含む)の上位4名を選考の対象とする。

(4) 4×50m フリーリレー

3月20日以降の長水路公認大会の50m自由形(リレーの第一泳者の記録を含む)の上位4名を選考の対象とする。

【OWS】

国スポ参加標準記録を突破した者から規定の種目別人数の範囲で選考する。

(男子は 1500m 自由形、女子は 800m 自由形とする)

1. 選考の対象となる競技会

2024年9月1日以降、国スポ選考会議までの都道府県水泳連盟(協会)が承認した公式競技会、または公認競技会において、(公財)日本水泳連盟の定める参加標準記録を突破した最上位者男女各1名を、選考の対象とする。

2. 2024年4月1日以降の日本水泳連盟主催大会、認定サーキットシリーズ、国際大会において5km以上の競技に参加し完泳していること。

3. 予備エントリーの結果により、男女で1名になった場合は、参加標準記録の突破率の高い方とする

※特例措置

トップアスリート特別枠(前年度日本選手権10km男女各8名)に選出された選手は、予選会を免除し出場を担保される為、代表選手に内定する。※予備エントリーは必須。

【飛込】

(公財)日本水泳連盟の定める標準点を突破した者から規定の人数の範囲で選考する。

成年の部

- ・トップアスリート対象となった選手は予選会を免除する。
- ・選手選考対象となっている大会にて標準点を突破した者の中で競技成績上位者
対象競技会：関東選手権または関西選手権

少年の部

- ・トップアスリート対象となった選手は予選会を免除する。
- ・選手選考対象となっている大会にて標準点を突破した者の中で競技成績上位者
対象競技会：①地域高等学校選手権 ②全国 JOC ジュニアオリンピック地域別予選会

【その他成年選手について】

- ・学生は卒業小学校、中学校または卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県から「ふるさと選手制度」を活用しなければ選考の対象とならない。
- ・学生以外の成年は、「居住地を示す現住所」、「勤務地」、「ふるさと」のいずれかが属する都道府県を選択することができる。

以上